

フクシマガリレイ株式会社

証券コード：6420



FINE!

Fresh Information & Next Efforts

株主・投資家の皆さまへ

第71期中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

GALILEI

Be cool, Be alive.



代表取締役社長 福島 裕

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第71期(2022年3月期)中間の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。

当社は2021年12月8日をもって創業70周年を迎えます。これもひとえに長年当社を支えてくださった多くのお客様方をはじめ、お取引先様や株主の皆様のご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

―今期の業績について―

上期におけるわが国経済は、全国各地に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が拡大されるなど、雇用・経済・社会生活・企業活動において極めて厳しい状況が続きました。また、半導体やその他の部品の供給不足、原材料価格高騰の影響により、先行き不透明な状況にあります。

当企業集団を取り巻く環境は、外食産業では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための外出自粛や営業時間の短縮要請などにより、売上が減少しており依然として厳しい状況が続いております。また、流通産業では、コロナ禍における生活習慣の変化や家庭内消費の増加によって食品需要が高まり、設備投資の需要は堅調に推移しておりますが、個人所得の低下や雇用環境の悪化などが続けば、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

冷凍冷蔵庫販売では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるテイクアウトなどの増加に伴い、プラストチラーやドゥコンディショナーなどの売上が増加し、ファーストフード向けなどの販売も堅調に推移しました。

医療・理化学製品販売では、新型コロナウイルス感染症の関連需要として病院・クリニック向けにメディカルフリーザーや薬用保冷庫の売上が好調に推移し、再生医療等の研究施設向けの販売が堅調に推移しました。

引き続き、スーパーマーケットの改装需要が堅調に推移し、ドラッグストアの郊外型店舗の出店や、コンビニエンスストアの改装案件が好調なため、冷凍冷蔵ショーケース販売の売上は増加しました。

大型食品加工機械販売では、トンネルフリーザーにおいては、引き続き食品メーカーなどの設備投資意欲が回復傾向にあることと、冷凍食品やチルド弁当などの需要増加に伴い売上が増加しました。

大型パネル冷蔵設備販売では、物流倉庫関係などの引き合いや受注は多くあるものの、大型物件の施工が下期に集中し、プロセスセンターの売上が減少しました。

小型パネル冷蔵設備販売では、引き続きスーパーマーケットにおいて店舗の改装需要が好調なため、売上は増加しました。

サービス販売では、スーパーマーケットやドラッグストア、飲食店向けのメンテナンス売上が増加し、トンネルフリーザーのメンテナンス売上也好調に推移しました。

製造部門においては、滋賀、岡山の両工場で生産計画の調整や製造ラインの改修などを行い、需要の増加に柔軟に対応いたしました。また、半導体不足や原材料の高騰の影響が懸念されましたが、部品の転注や生産効率の向上による原価低減など、製販一体となって取り組んでまいりました。

世界的な半導体不足と東南アジア諸国での新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生産用部品の供給に支障が発生したことに伴い、当社岡山工場生産の一部製品において生産が遅延する状況になっておりますが、対象製品の生産に向け全力を尽くしてまいります。

―70周年を迎えて―

わたしたちガリレグループは、今年創業70周年を迎え、次なる100周年に向けての歩みを進めてまいります。これからの30年でわたしたちが成長し続けるために重要なことは、常に新しいことに挑戦する姿勢、より良い社会をつくるために何が必要で何ができるかを社員一人ひとりが考えて挑戦することです。失敗を恐れず、新たな道を切り拓こうとする気持ちの人が育てるという考えのもと、新しいことに取り組める環境を整えていきます。

2022年4月から再編される東証の新市場区分において、フクシマガリレイはプライム市場を選択することとし、手続きを進めています。取締役会や経営会議など経営における意思決定の際には、改訂コーポレートガバナンス・コードに基づいた、より透明性の高いガバナンス体制の構築に注力し、株主の皆様をはじめとするステークホルダーとの建設的な対話を重視することで、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現してまいります。

社員の人間性、製品・サービス技術力の向上でお客様との信頼関係を構築し、「食といのちの未来を拓く挑戦者」として、広く社会に貢献できる「幸せ創造企業」の実現を目指し、これからも歩みを止めずに進んでいきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

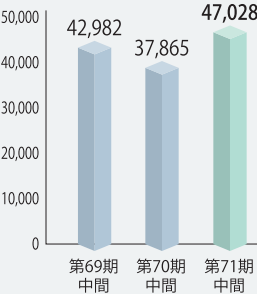
財務ハイライト

第71期中間連結決算（単位：百万円）

売上高

47,028

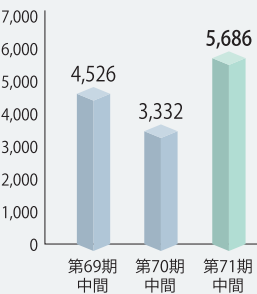
前年同四半期比 24.2%増



営業利益

5,686

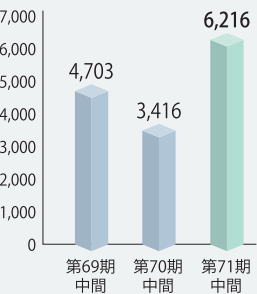
前年同四半期比 70.6%増



経常利益

6,216

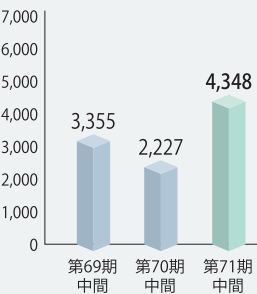
前年同四半期比 81.9%増



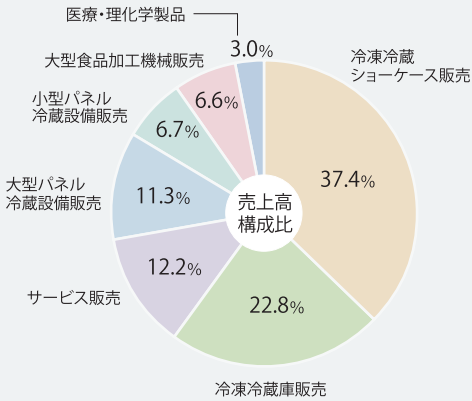
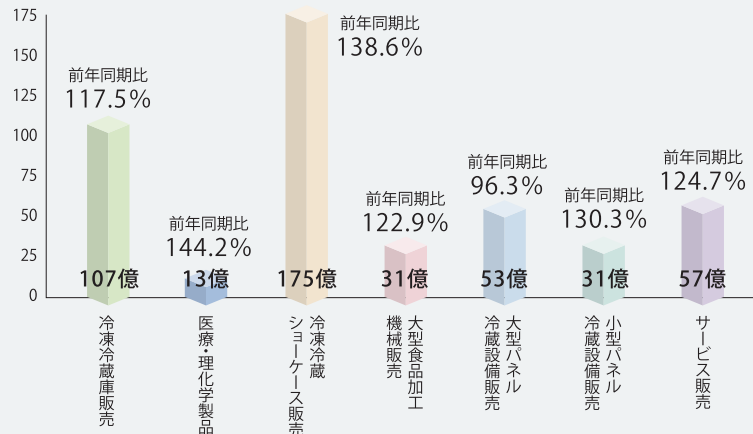
親会社株主に帰属する四半期純利益

4,348

前年同四半期比 95.2%増



事業別売上高



企業理念 環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

最新の機器やシステムなどを一堂に展示 全国各地より大勢のお客様に参加いただきました

GALILEI EXPO2021

2021年7月15日・16日の2日間に渡り、本社ビルとタカハシガリレイ旧本社を会場に

初のグループ4社合同プライベート展示会「GALILEI EXPO 2021」を開催しました。

なお、コロナ禍により完全事前登録制にて実施。

食品工場やスーパーマーケット、厨房やシステムなどグループが提供する

最新のエンジニアリングを来場者にご提案しました。



〔タカハシガリレイ旧本社会場〕

最新の機器を取りそろえ 未来の食品工場のラインを再現

タカハシガリレイ旧本社会場では、食品工場の生産ラインを再現し、設計から施工までをトータル提案しました。最新型のトンネルフリーザー®やロボットアーム、箱詰め装置、人工知能 (AI) による不良品の自動判別システム、食品の洗浄に最適な電解次亜水生成装置「FEアクアライザー」などの機器をご紹介します。『食の安全・安心』『人手不足解消』『衛生管理』など、食品業界における課題に対する解決策のご提案を中心に、業界の皆さまに深い関心を持っていただけました。



〔本社ビル会場〕

オープンイノベーション拠点MILABにて 次世代の食品製造・調理・販売をアピール

本社ビルにあるオープンイノベーション拠点MILAB（ミラボ）では、トンネルフリーザー®の展示やHACCP管理システムなどを紹介しました。トンネルフリーザー®では用途別に6種類を展示し、それぞれの機能を担当者が実演を交えて解説しました。HACCP管理システムでは、タブレットを使用する「HACCP ExAround」を紹介し、記録・管理の利便性や導入コストの優位性などを説明しました。改正食品衛生法に基づくHACCP制度化（義務化）が始まっていることもあり、来場者の多くが高い関心を示されていました。



Seminar <本社ビル会場・オンライン>

冷凍技術や食品工場における特別セミナーを開催 食品の有識者による特別講演も行いました

イベント同日、冷凍技術や食品工場についてなどの特別セミナーを本社ビル会場およびオンラインにて実施しました。1日目にはフードビジネスコーディネーターとしてご活躍されているFoodbiz-net.com代表道畑 富美様による「ボーダーレス化する外食と中食、新しい調理システムへの期待」をテーマにした講演、2日目には食品冷凍技術分野でご活躍の東京海洋大学の鈴木 徹特任教授による「食品の冷凍と解凍における品質保持について」をテーマにした講演を行っていただきました。



case study 1

食品・レストラン事業を展開する株式会社ピエトロ様

クリーン解凍機およびトンネルフリーザー®を納入 タカハシガリレイとの協働で受注拡大

ドレッシングやソースなどの製造販売、

パスタ料理をメインとしたレストラン事業などに取り組む

「株式会社ピエトロ」様の冷凍食品の製造拡大に向け、古賀工場へ新規設備を納入。

当初、クリーン解凍機のための提案でしたが、急速冷凍結庫のニーズも判明し、

タカハシガリレイとのグループ営業により、両機器とも受注することができました。



冷凍食品の製造拡大に対して クリーン解凍機を納入

コロナ禍での中食・内食需要の高まりに伴う冷凍食品の製造拡大に向けて、解凍機の導入についてのご相談があり、クリーン解凍機をご提案しました。本社ビルのMILABにご来社いただき解凍デモンストレーションを実施。実際にご覧いただいた結果、納得いただける内容であり、即時導入が決定しました。



タカハシガリレイと協働し トンネルフリーザー®を追加納入

クリーン解凍機の納入を進めている際に、冷凍ピザ・冷凍ドリアの増産計画があり急速凍結庫も探しているというご相談を受けました。そこで、トンネルフリーザー®の紹介と、MILABでの凍結試験のご提案を行った結果、ぜひ導入を検討したいとお声をいただくことができました。タカハシガリレイと協働しながら、MILABでの凍結試験や仕様の調整を繰り返し、お客様に納得いただける結果に至りました。



工場に設置した後も、何度もテスト運転を実施。



MILABを活用し、凍結デモンストレーションを実施。



ガリレイグループ丸となって 今後もさらなるサポートを

今回の納入のみならず、工場内のトンネルフリーザー®や生産ラインを含め、さらにお客様に寄り添ったサポートができるよう引き続きご提案してまいります。今後もタカハシガリレイと協働し、ガリレイグループとしてさらなるお手伝いができるよう丸となって取り組んでまいります。

case study 2

インドネシアの日系スーパーマーケット
PAPAYA FRESH GALLERYチカラン店

海外初となる補助金案件として ガリレイエアテックシステムを納入

インドネシアの主要都市ジャカルタを中心に幅広く店舗展開する、日系スーパーマーケットPAPAYA FRESH GALLERY。日本人が多く在住するチカランエリアの新店舗に、店内環境を最適化するガリレイエアテックシステムと冷凍冷蔵ショーケース、各種設備機器を納入しました。今後こうした技術やシステムを広く普及させることで、アジアの国々をはじめとした海外の環境保全に貢献できる事業展開を目指してまいります。



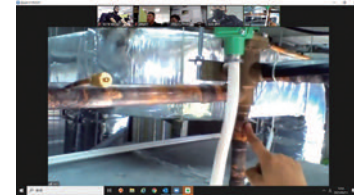
ガリレイエアテックシステムにより 店内環境の最適化を

チカラン店は占有面積が1,100㎡あり、天井高3.5mを有する解放感のある店舗。店内環境の省エネ・快適性の最適化をはかるために、ガリレイエアテックシステムとともに除湿給気装置、冷凍・冷蔵用マルチ冷凍機などを納入しました。青果ケースでは他社と協働して什器提案を実施し、PAPAYA様グループ会社であるテナントの空調、ダクト、厨房も一括でサポートしました。また、インドネシアのスーパーマーケットとして初めてGWP（地球温暖化係数）が低いR-448A（代替フロン冷媒）を納入。競合ローカルスーパーマーケットとの差別化と共に、PAPAYAスタッフ様のSDGsに対する意識喚起や取り組みにもつなげることができました。

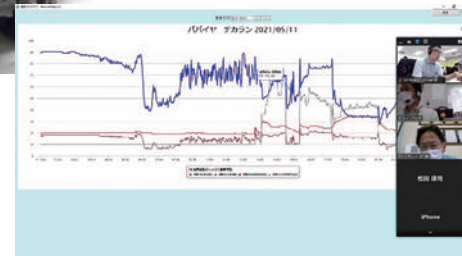


設備の連携制御で、省エネかつ店舗の衛生化 これからの店舗空調をアピール

ガリレイエアテックシステムで、除湿給気装置、間接気化式冷却装置、エアコン、ショーケースを連携制御することで空調エネルギーの大規模な削減と結露やカビのつかない衛生的な店舗を目指しました。除湿給気装置では店舗内湿度を50％程度に保持し、ショーケースの霜取り運転の低減やエアコンの大幅効率改善へ。更に、除湿時に除湿給気装置から出る排熱をショーケースの下部に誘導し、足元から適切な温度と湿度が保たれた空気を供給することで、店舗内の寒さを和らげます。今後の店舗空間の在り方を示し、業界における標準仕様として広くアピールすることができました。



エアテック課、協力会社と連携し、WEBリモートにて現地スタッフのみで対応。



コロナ禍の中、WEBを用いながら リモートで無事に納入完了

当初は日本の技術部メンバーが現地に入り、施工指導をはじめ、試運転、データの取り込みなどを行う予定でしたが、コロナの影響により海外への渡航禁止が発令。急遽、WEBリモートでの対応に切り替え、当社エアテック課、協力会社のサポートを受けながら現地スタッフのみで対応することができました。今回、営業戦略部、エアテック課、現地販社と共同することで、強固なグループ提案力を再認識するとともに、リモート対応による海外での事業への新たな可能性が広がりました。

■ 本社ビルに飲食店の新規事業をサポートする シェアキッチン「ツカキチ」をオープン

コロナ禍での中食需要の拡大とデリバリープラットフォームの普及により、飲食店の新たなモデルとして、フードデリバリーを活用したゴーストレストランやシェアキッチンスペースが増加しています。関西圏で新たなフードサービスを始める飲食店をサポートするため、本社ビルにてシェアキッチン施設「ツカエルミラボキッチン（通称：ツカキチ）」の運営をスタートしました。「ツカキチ」ご利用様は、本社ビル内のMILAB各施設で食品試験や官能評価を活用することができます。さらに、HACCP管理サポートシステムの「HACCP ExAround」を利用することによって徹底した衛生管理の運用も可能。業務用冷凍冷蔵庫メーカーとして長年飲食業界に関わってきたノウハウに加え、本社ビルMILABの充実した機器を活用し、お客様の新規ビジネスの導入を応援していきます。



■ 全社員参加型社会貢献活動 「ガリレイ1%クラブ」発足

ガリレイグループでは継続的かつ全社員参加型の社会貢献活動として、税引き前利益の約1%を地域や他社の社会貢献活動のために活用する「ガリレイ1%クラブ」を発足いたしました。これまでも子ども食堂や医療施設へ業務用冷蔵庫の寄贈などを行ってまいりましたが、今後もよりよい社会の実現と未来のために、社会的課題の解決に向けた活動に取り組んでまいります。



フードバンクへの
業務用冷凍冷蔵庫の寄贈



工場、本社での献血活動

■ ガリレイグループ本社ビルにて 新型コロナワクチン職域接種を実施

近隣企業13社と合同でガリレイグループ本社ビル会場にて新型コロナワクチンの職域接種を実施しました。当社の産業医である第一病院様にご協力いただき、社員の家族や近隣企業の方も含めた計880名の方が参加し、地域貢献につなげることができました。ワクチンの管理にはガリレイグループの技術・製品を活用し、徹底した温度管理下での解凍・保管を行いました。



1階ギャラリーでの受付の様子



スリム型薬用保冷庫にて
冷凍状態のワクチンを解凍・保管

連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日現在)
資 産 の 部		
流動資産	67,085	71,799
固定資産	29,825	30,286
有形固定資産	17,623	17,664
無形固定資産	365	460
投資その他の資産	11,836	12,161
資産合計	96,911	102,086
負 債 の 部		
流動負債	30,559	32,175
固定負債	1,651	1,777
負債合計	32,211	33,952
純 資 産 の 部		
株主資本	60,373	63,795
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	3,168	3,168
利益剰余金	57,659	61,081
自己株式	△3,215	△3,215
その他の包括利益累計額	4,285	4,289
その他有価証券評価差額金	4,011	4,156
為替換算調整勘定	27	9
退職給付に係る調整累計額	246	123
非支配株主持分	41	48
純資産合計	64,700	68,133
負債純資産合計	96,911	102,086

連結損益計算書 (単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	37,865	47,028
売上原価	27,920	34,256
売上総利益	9,944	12,772
販売費及び一般管理費	6,612	7,086
営業利益	3,332	5,686
営業外収益	303	590
営業外費用	219	60
経常利益	3,416	6,216
税金等調整前四半期純利益	3,323	6,073
法人税、住民税及び事業税	1,089	1,904
法人税等調整額	13	△185
法人税等合計	1,102	1,719
非支配株主に帰属する四半期純損失	△6	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,227	4,348

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,899	6,016
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,425	△618
財務活動による キャッシュ・フロー	△961	△1,060
現金及び 現金同等物に係る換算差額	48	△49
現金及び 現金同等物の増減額	△439	4,287
現金及び 現金同等物の期首残高	31,259	39,575
現金及び 現金同等物の四半期末残高	30,820	43,863

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

I n f o r m a t i o n

会 社 概 要

商 号	フクシマガリレイ株式会社
本 社	〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島2丁目6-18
設 立	昭和26年12月8日
資 本 金	27億6千万円
従 業 員 数	連結：2,205名 単体：1,725名（準社員含む） 2021年3月現在

事 業 所 一 覧

主要拠点	本社・関西支店（大阪）、東日本支社（東京浅草橋・東京日本橋） 中部支社（名古屋）、西日本支社（福岡）
支 店 営 業 所 サービスステーション	北海道（札幌）、旭川、函館、帯広、釧路、北東北（盛岡）、水沢、 青森、秋田、南東北（仙台）、郡山、山形、千葉、柏、北関東（ 宇都宮）、水戸、つくば、高崎、さいたま、南東京、北東京、 西東京、甲府、横浜、厚木、信越（新潟）、長野、松本、静岡、沼津、 浜松、豊橋、岐阜、三重、富山、金沢、福井、京都、福知山、滋賀、 南大阪、奈良、和歌山、神戸、西宮、姫路、岡山、鳥取、広島、 福山、松江、山口、四国（松山）、徳島、高知、高松、北九州、 久留米、佐賀、東九州（宮崎）、大分、都城、西九州（長崎）、 佐世保、南九州（熊本）、鹿児島、沖縄、石垣、宮古島
サービスセンター	関東（船橋）、関西（大阪）
工 場	滋賀（水口）、岡山

グ ル ー プ 会 社 一 覧

タカハシガリレイ株式会社、ガリレイパネルクリエイト株式会社
ショウケンガリレイ株式会社、フクシマトレーディング株式会社
福島国際（香港）有限公司、ガリレイ（タイランド）株式会社
フクシマガリレイシンガポール株式会社、台湾福島国際股份有限公司
フクシマガリレイマレーシア株式会社、福久島貿易（上海）有限公司
フクシマガリレイベトナム有限会社、フクシマガリレイタイランド株式会社
フクシマガリレイフィリピン株式会社、福島国際インドネシア株式会社
フクシマガリレイミャンマー株式会社、フクシマガリレイカンボジア株式会社

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。
フクシマガリレイのホームページを、ぜひご覧ください！

www.galilei.co.jp

GALILEI
Be cool, Be alive.

役 員

代表取締役社長	福島 裕	取締役	水谷 浩三
取締役副社長	福島 亮	取締役	日野 達雄
専務取締役	福島 豪	社外取締役（常勤監査等委員）	竹内 博史
常務取締役	片山 充	取締役（監査等委員）	堀之内 健士
常務取締役	長尾 健二	社外取締役（監査等委員）	藤川 隆夫
		社外取締役（監査等委員）	吉年 慶一

株 式 の ご 案 内

決 算 日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ https://www.galilei.co.jp/ir/advertise.html に掲載いたします。
株主名簿管理人 および 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）

